新潟県報道資料

新潟県

令和５年８月８日
農　産　園　芸　課
経　営　普　及　課

異常高温と乾燥からイネを守るため、速やかにかん水するよう呼びかけています

気象庁の発表によると、台風第６号は、８月８日４時には奄美市の東にあって、ゆっくりした速さで北北西へ進んでいます。この後、10 日にかけて九州の西の海上を北上する見込みです。

そのため、８月９日から 11 日にかけて本県に影響が及び、フェーン現象等による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

異常高温と乾燥による水稲の被害を防止するため、別紙「フェーン・異常高温緊急情報 第１号」により、農業者へ速やかなかん水を呼びかけるとともに、農業用水の効率的な利用を啓発しています。

○ 技術対策の内容

別紙「フェーン・異常高温緊急情報 第１号」のとおり
なお、上記対策は、以下の県ホームページでもご覧いただけます。
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nouen/r5inasaku-kinkyu230808.html

＜本件についての問い合わせ＞
農産園芸課　参事(稲作振興担当) 白崎
（直通）025-280-5810　（内線 2923）
経営普及課　参事(稲作技術統括) 土田
（直通）025-280-5841　（内線 3072）

フェーン・異常高温緊急情報（第１号）

令和５年８月８日
新潟県農林水産部

８月９日から 11 日にかけて、台風6号による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。
イネを高温障害から守るため、速やかにかん水し、地温の上昇を抑えましょう。

〔気象の見込み〕

◎　新潟地方気象台が 8 月 7 日 14 時 30 分に発表した「２週間気温予報」では、10～11 日の最高気温は 37～38℃、最低気温は 28～29℃と予想され、10 日の最低気温は 30℃を超える恐れがあります。
◎　まとまった降水がしばらく期待できない状況であり、台風の進路によっては、９～11 日にかけてフェーン現象による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

〔当面の管理対策〕

◎　コシヒカリは、出穂後の高温に対する感受性が最も高い時期、新之助は出穂盛期となっており、最も水を必要とする時期を迎えます。
◎　土壌表面に水がない状態でフェーン等の異常高温に遭遇すると品質が大きく低下します。高温障害による被害を軽減するため、速やかにかん水し、地温の上昇を抑えましょう。
◎　地域の用水の供給状況を確認して、地域全体に用水が行き渡るよう、異常高温が発生する前から、かん水を始めてください。こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めてください。湛水深は可能であれば２～３㎝とします。ただし、長期間の湛水は根の機能低下を招くので避けましょう。
◎　早生品種は登熟初期に高温に遭遇しており、胴割粒の発生リスクが高い状態です。刈遅れによる品質低下を防ぐため、地域の技術情報を参考に、適期収穫に努めてください。

農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。